

さざめく往来

古町花街に行き交う人びと

2026年1月11日(日)~1月31日(土)

新潟大学駅南キャンパス ときめいと多目的スペース

平日・土曜日 8:30-19:00 日曜日 8:30-17:00
毎週月曜日休館 入場無料

主催 共創地域アーカイブ実行委員会

(令和7年度文化庁InnovateMuseum事業「地域を超えて共創・永続する地域アーカイブを目指して」)

新潟大学人文社会科学系附置 地域映像アーカイブ研究センター

協力 山形大学附属博物館

新潟まち遺産の会

古町花街の会

新潟大学都市計画研究室

お問い合わせ 榎本千賀子(新潟大学人文学部) enomoto@human.niigata-u.ac.jp

1955(昭和30)年頃／新潟市中央区東新道
鍋茶屋付近／中俣正義コレクションより

新潟大学人文社会科学系附置地域映像アーカイブ研究センターは、新潟地域の生活のなかに残された映像の発掘・デジタル化・活用に取り組んでいます。本展では、本センターが古町花街をテーマに実施した今年度の取り組みをご紹介とともに、古町花街を中心とする新潟の街が生み出した映像資料を展示します。古町花街をにぎやかに行き交う人びとの姿を通して、新潟の都市文化を振り返ります。

さざめく往来

古町花街に行き交う人びと

新潟大学人文社会科学系附置地域映像アーカイブ研究センターは、新潟地域の生活のなかに残された映像の発掘・デジタル化・保存およびその内容の整理・分析を行うことにより、映像メディアの社会的なあり方を再考し、映像を新たな社会の文化遺産として甦らせるべく活動しています。その成果を公開する「にいがた地域映像アーカイブ・データベース」では、2025年3月現在、写真約20万点、動画約400本、絵葉書約3800点、音源700点ほかの資料が検索・閲覧可能となっています。

本展では、大正～昭和初期の絵葉書や、新潟県観光課に勤めた写真家・中俣正義が撮影した1950～60年代の写真を中心に、古町花街をはじめとする都市・新潟を行き交う人びとの姿を振り返ります。かつての新潟の路上に溢れていた賑やかなさざめきとともに、都市・新潟のイメージや、社会における女性・男性のあり方の変化を辿る展覧会です。



1957(昭和32)年8月23日／新潟まつり 水上神輿渡御に参加する古町芸妓／中俣正義コレクションより



1930(昭和5)年頃／港湾協会第三回総会絵葉書／あわづや文庫コレクションより

会場内ではまた、古町花街をテーマとしたイベント「花街の記憶を残し隊」をはじめとする今年度の本センターの活動を、学生が作成したパネル等を通じてご紹介します。これにより、地域映像アーカイブ活動の現在地と実践・研究の可能性を探ります。



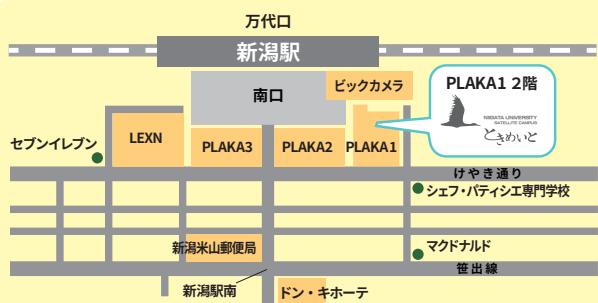
「花街の記憶を残し隊」(2025年11月1日)

会場》新潟大学駅南キャンパスときめいと多目的スペース

〒950-0911 新潟県新潟市中央区笹口1-1 プラーカ1 2階

会期》2026年1月11日(日)～31日(土) 毎週月曜日休館

開館時間》平日・土曜日 8:30～19:00 日曜日 8:30～17:00



にいがた 地域映像アーカイブ・データベース

にいがた地域映像アーカイブ・データベースは、閲覧申請の上利用可能です。データベースで公開している資料の多くは、利用申請なしでどなたでも検索・閲覧できるJAPAN SEARCHからも閲覧可能です。

にいがた地域映像
アーカイブ・データベース



JAPAN SEARCH

